

「茅ヶ崎の風景-今昔」-市民まなび講座の一例として

井上香乃*

1 市民まなび講座とは

市民のみなさんの自主的な学習機会を支援するために、市職員が市民の学習の場に出向き、お話（講座）をさせていただく制度です。自分の住む街を知り、行政に対する理解を深めていただくことを目的として平成13年4月1日より実施されています。（お申込み方法、その他詳細については茅ヶ崎市文化生涯学習課までお問合せください。）

メニューは現在74種類あり、災害に関すること、子育てに関すること、健康に関することなど内容は様々です。今回はその中から平成25年度に実施された市史に関する講座の一部をご紹介します。

2 基本情報

日時：平成25年9月20日（金）6校時

（14時30分から50分間）

場所：茅ヶ崎市立梅田中学校体育館

対象：茅ヶ崎市立梅田中学校1年生

テーマ：『地域の人の話を聞く会「茅ヶ崎の風景—今昔—」』

目的：自分たちの住む茅ヶ崎市に関する話を聞くことにより、地域に関心を持ち、地域学習の導入とする

資料：レジュメ1枚配布、PowerPoint 投影

参考文献：

「写真集茅ヶ崎きのうきょう」茅ヶ崎市, 1983

「茅ヶ崎市史現代第2巻」茅ヶ崎市, 1995

「茅ヶ崎市史ブックレット第1集」茅ヶ崎市, 1998

「茅ヶ崎市史ブックレット第13集」茅ヶ崎市, 2011

3 講座再現「えぼし岩の今昔」

みなさんこんにちは。

今回は、茅ヶ崎市の歴史を「風景の変化」というテーマでいくつか紹介したいと思います。今回紹介するお話は茅ヶ崎市の歴史のほんの一部です。少しでも興

味を持ったらずひ図書館などで調べてほしいと思います。今回はみなさんが茅ヶ崎市の歴史に興味を持つきっかけをつくれたらと思っています。

みなさんが住んでいるのはご存じのとおり「海のあるまち 湘南茅ヶ崎」です。今回は茅ヶ崎の海のシンボル「えぼし岩」の今と昔についてご説明します。

まずはみなさん、えぼし岩がどんな形をしていたかイメージしてみてください。どちらに傾いていたか、表面はどうなっていたか、すぐに頭に浮かびますか。

正解はこちらです！（スライド(1)を示す）茅ヶ崎の陸地からみると、右に傾いています。近づいてみると烏帽子に似た山の部分の下にはテーブルがあり、表面はでこぼこしています。岩といっても、ちゃんと陸地になっていてここで釣りをすることもできます。いつも遠くから見ているイメージとは少し異なりますね。以上が現在のえぼし岩の姿です。

ちなみにこれはおまけですが、先日茅ヶ崎の野球場でライブを開催して話題になった有名バンドのみなさんをご存知ですか。この方々の代表曲の歌詞の中にもえぼし岩が出てきます。

このように茅ヶ崎のシンボルとして愛されているえぼし岩ですが、実は今と昔ではずいぶん形が違います。日々、風や波の力で多少の変化を重ねてはいますが、実は特に重大な変化が2回ありました。

1回目は関東大震災の時です。今から90年前の1923年9月1日にマグニチュード7.9の大地震が発生しました。どのように変化したか見てみましょう。

まず震災前のえぼし岩がこちらです。（スライド(2)を示す）そして震災後、えぼし岩がどうなったかというところ…（スライド(4)を示す）

震災前に比べてテーブルの部分が高くなって水面から出てきているのが分かります。えぼし岩周辺の地盤は、震災の前後でなんと1メートル以上も隆起したそうです。これが1回目の大きな変化です。

そして2回目の大きな変化が、1945年に第二次

世界大戦で終戦を迎えた後です。このころ日本はアメリカ軍の占領下に置かれていました。このあたりのことはもう授業で習ったでしょうか。まだでしたらぜひ調べてみてください。

このとき、実はあの茅ヶ崎の海岸もアメリカ軍の演習場として使われていました。アメリカ軍からは、「チガサキビーチ」と呼ばれ、砲撃の演習などが行われました。そしてこの演習の際に砲撃の的とされたのが、なんと、えぼし岩だったのです。特に岩の頂上を的にして砲撃演習を行ったために、演習の前後でえぼし岩がどう変化したか見てみましょう。まず、砲撃演習前のえぼし岩がこちら。(スライド(3)を示す) 初めに示した現在のえぼし岩と比較してみましょう。(スライ

ド(1)と比較) どこが違うか分かりますか。近づいてよく見てみると、岩の頂上の部分が欠けているのが分かりますよね。えぼし岩の烏帽子らしさの特徴であったともいえる頂上の左に少し折れ曲がった部分が実はこのとき消滅してしまったのです。

茅ヶ崎の海のシンボルとしていつもそこに佇んでいるえぼし岩ですが、このように様々な変化を経て、現在の姿になりました。

もし興味を持ってくれた人がいたら、まずはぜひ近くまで行って観察してみてください

ださいね。ありがとうございました。(拍手)

(レジュメ項目2以降についてはスペースの関係上、省略させていただきます。)



図1 スライド(1) 2013年のえぼし岩(文化生涯学習課所蔵)



図3 スライド(3) 砲撃演習前のえぼし岩(文化資料館所蔵)

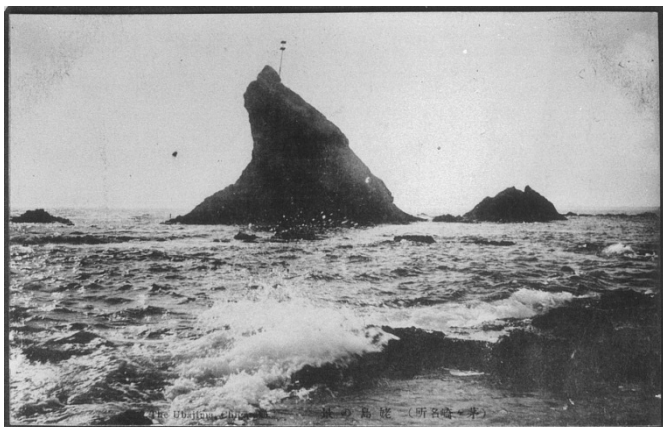


図2 スライド(2) 震災前のえぼし岩(文化生涯学習課所蔵)



図4 スライド(4) 震災後のえぼし岩(和田治彦氏所蔵)

4 梅田中学校一年生から届いた手紙～「感謝を込めて」 謝辞

- ・射撃練習のまあとにされていて、しかもかけていたなんて、少しかなしかったです。これからは、”えぼし岩”を茅ヶ崎の宝として、大切にしたいです。
- ・最後に茅ヶ崎の町役場が出てきて、茅ヶ崎って町だったのか？と思いました。
- ・きっとこの茅ヶ崎にはまだたくさんの歴史があると私は思います。また、調べるだけでなく歴史の跡が残っていたら、その場所に行ってみようと思います。
- ・私は夏休みの美術の課題で、えぼし岩を描きました。そのときに見たえぼし岩と写真で見たえぼし岩が全然ちがったことにおどろきました。
- ・先端の丸いえぼし岩が、前はとんがっていて新鮮でした。とんがっている方がカッコいいなと思いました。
- ・えぼし岩には行ったことはないのですが、昔からあったことにびっくりしました。いつかはツアーなどに 行って間近で見てみたいです。
- ・私は茅ヶ崎に住み始めて5年ですが詳しく茅ヶ崎を知ったのは初めてでした。
- ・茅ヶ崎にアメリカ軍が上陸したことも驚きました。
- ・今まで私は茅ヶ崎について関心もなかったですし、何もしらなかったのですが、お話を聞いて茅ヶ崎には深い歴史や人の思いがあるのだと知りました。
- ・えぼし岩が古くからあることを知らなくて、えぼし岩のもともとのすがたを見ておどろきが止まりませんでした。
- ・えぼし岩の「えぼし」は地名ではなく、帽子の名前だったことが一番印象に残りました。
- ・私も大人になり、茅ヶ崎で何かしているならば、たくさんの子供達に茅ヶ崎の魅力や歴史、現在の経済じょうきょう等を教えていきたいと思います。
- ・橋が出てきたとはとてもおどろきました。中学校の近くにある梅田橋もいつかあんな風になったりするかなと思うと面白かったです。
- ・次の日に東海道線に乗って、茅ヶ崎・平塚間で、下の方をのぞいてみたら、写真で見た通りの光景が見られました。この伝説を知らなければ、柱を見つけても、不思議には思わなかったと思います。

(※抜粋。また、表現・表記は原文に倣いました。)

今回、日頃より茅ヶ崎市史の調査・研究、普及活動に関してご指導いただいております文化生涯学習課平山孝通主任のご厚意で、このように市民まなび講座の報告をさせていただく機会をいただきました。改めて感謝の意を表します。拙い文章ではありますが、茅ヶ崎市史事業の記録としてお読みいただけたら幸いです。日頃よりご指導いただく文化生涯学習課の皆様、執筆のご配慮をいただきました社会教育課の皆様に心より感謝申し上げます。

* 茅ヶ崎市文化生涯学習課市史編さん担当

レジュメ 茅ヶ崎の風景一今昔

平成25年9月20日(金) 梅田中学校

茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課 井上 香乃

1 えぼし岩の今昔 ～今と昔では形が違う！？～

◆関東大震災の影響

震災前と後では、地盤が1メートル以上も隆起しました。

◆アメリカ軍の砲撃演習の影響

1945 年～1958 年頃えぼし岩はアメリカ軍の砲撃演習の的となっていました。そのため、烏帽子の先端部分などが欠けてしまいました。

2 茅ヶ崎の橋の今昔～出てきた橋と壊れた橋～

◆旧相模川橋脚

1923 年関東大震災のときに下町屋の水田に 10 本の丸太が突然出現しました。これは 1198 年に源頼朝が渡り初めをした馬入川の橋脚であると考えられています。

◆馬入川鉄橋

一方、馬入川の鉄橋は震災の影響で崩壊しました。懸命な復旧作業により 1923 年の 10 月 21 日には通行が再開できるようになりました。

相模川には今もこの橋脚の一部が残されています。

3 ^{なんこいん}南湖院の今昔～画家が描いた洋館～

◆南湖院とは？

1899年に高田畊安が開設した結核療養所。

◆^{みつはし い と じ よろずてつごろう}三橋兄弟治と萬鐵五郎

三橋兄弟治…茅ヶ崎市南湖で生まれた画家

萬鐵五郎 …1919 年に療養のため茅ヶ崎市南湖に転地した画家

◆南湖院のクリスマス

クリスマスを医王祭と称し、全国から数百名を招待して祝賀祭をおこないました。

4 茅ヶ崎駅前周辺今昔～昭和ノスタルジック～

◆茅ヶ崎駅を見てみよう

◆駅周辺の建物を見てみよう

図 5 レジュメ